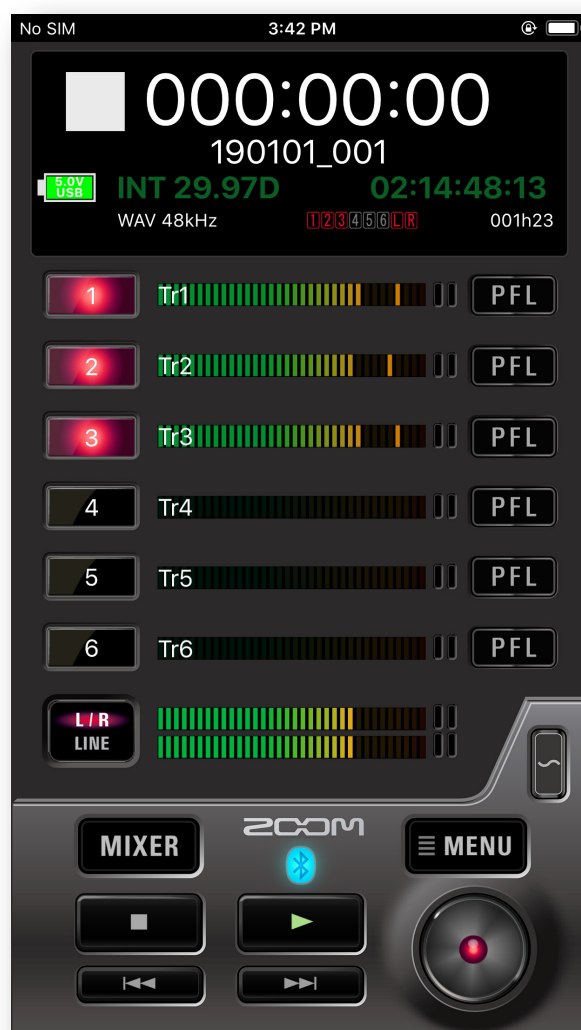




F6 Control

Version 1.1

オペレーションマニュアル



© 2019 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。
白黒端末では正しく表示できません。

目次

はじめに	3
著作権について	3
F6 Controlをインストールする	3
レコーダー本体とペアリング(接続)を行う	4
操作画面について	6
画面の流れ	6
HOME画面	7
MIXER画面	7
文字入力画面	8
録音の準備	9
録音ファイルの形式を設定する	9
録音する	10
入力を選択するには	10
ステレオリンクを設定するには	10
入力レベルを調節するには	11
録音する	11
録音に関する各種機能を設定する	12
録音時のテイク設定を変更する	13
再生する	14
再生するテイクを選択する	14
再生する	14
テイクをミキシングする	15
フォルダー／テイクの操作	16
FINDER画面を表示する	16
SDカード／フォルダーの内容を表示する	16
フォルダー／テイクを操作する	17
入力信号に関する設定	19
入力信号のモニターバランスを調節するには	19
トラックごとの各種設定を行う	20
出力に関する設定	22
出力レベルを調節するには	22
アンビソニック録音に関する設定	23
アンビソニック録音の設定を行うには	23
オートミックス機能に関する設定	24
オートミックス機能を有効にするには	24
テストトーンを再生する	25
その他の機能	26
日付／時刻を設定する	26
F6 Controlのバージョンを表示する	26
トラックネームを表示する	27
F6 Controlと FRC-8 を同時に使用する	27

はじめに

F6 Controlは、**zoom** マルチトラック・フィールド・レコーダー **F6** (以降、本マニュアルでは「レコーダー本体」といいます) 専用のリモートコントロールアプリケーションです。iOSデバイス上で、レコーダー本体の録音／再生などの操作や、ミキサーの調節を行うことができます。

なお、本書では、レコーダー本体の操作についての説明はしていません。各機能の詳しい内容については、「**F6** オペレーションマニュアル」を確認してください。

著作権について

iPad、iPhone、iPodおよびiPod touchは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。iOSは、米国をはじめとする国々におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ズームはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

F6 Controlをインストールする

1. iOSデバイスでApp Storeを起動し、「F6 Control」を検索する

2. F6 Controlの画面で「入手」をタップする

F6 Controlがインストールされます。



MEMO

- ・ F6 Controlの起動時には、操作するレコーダー本体とのペアリングを行う必要があります。
(→4 ページ「レコーダー本体とペアリング(接続)を行う」)

レコーダー本体とペアリング(接続)を行う

初めてF6 Controlを起動した場合、レコーダー本体と関連づけるために、ペアリング(接続)を行う必要があります。

MEMO

- レコーダー本体をiOSデバイスからリモートコントロールするには、ミキサーに別途専用無線アダプター (BTA-1 など) を取り付ける必要があります。詳細はレコーダー本体のオペレーションマニュアルを参照してください。



1. レコーダー本体を起動する

2. を押す

3. / で「システム」を選択して、 を押す



4. / で「Bluetooth」を選択して、 を押す



5. / で「iOS (F6 Control)」を選択して、 を押す



6. / で「接続」を選択して、 を押す

専用無線アダプター（BTA-1など）を識別するためのパスワードが表示されます。



7. iOSデバイスで専用アプリを起動し、のディスプレイに表示されたパスワードを入力する

ペアリングが開始されます。

ペアリングが完了すると、F6 Controlのディスプレイに「接続しました」と表示されます。

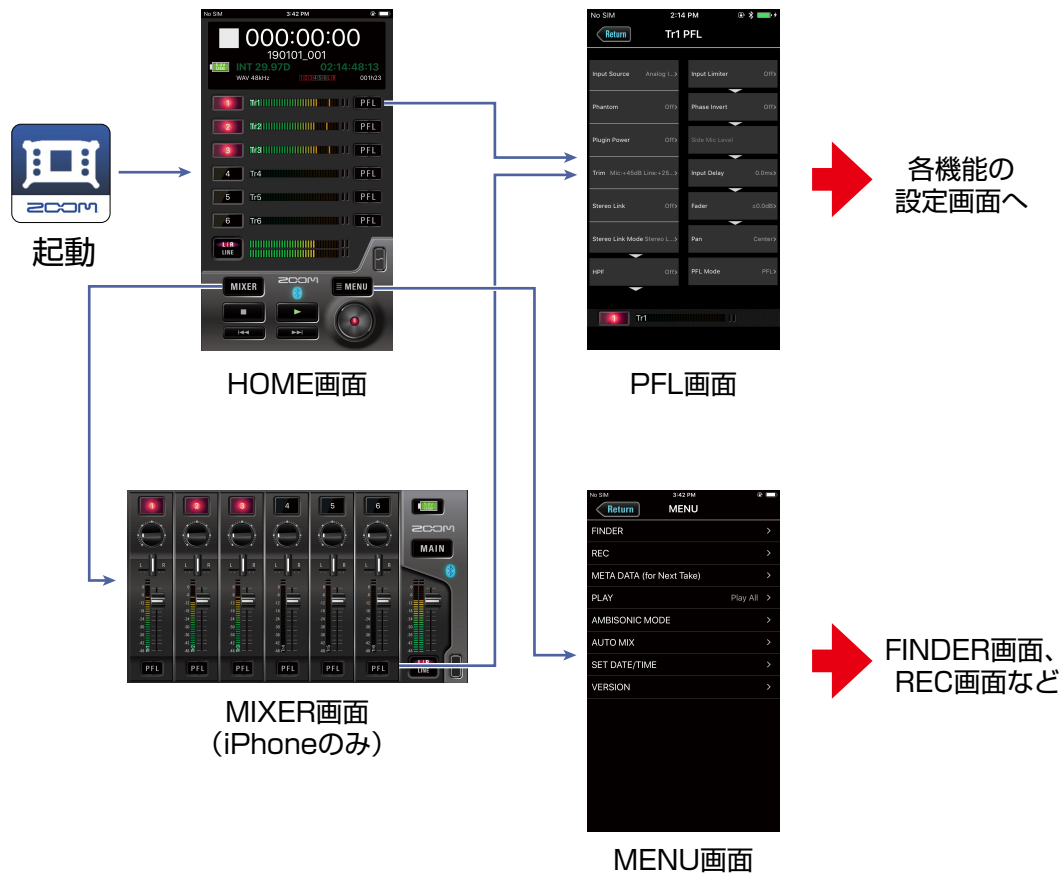


MEMO

- 2回目以降の起動時は、パスワードを入力する必要はありません。
- ペアリングがうまくできない場合、レコーダー本体との距離を近づけたり、電波をさえぎるものがない場所に移動してF6 Controlを起動し直してください。または、デバイス側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。

操作画面について

● 画面の流れ



■ HOME画面 (iPad版)

iPad版では、HOME画面上でMIXER画面の全ての操作が行えます。
独立したMIXER画面はありません。



HOME画面

F6 Controlを起動すると、HOME画面が表示されます。



MIXER画面



● 文字入力画面

テイク、フォルダー名などの入力を行う場合、文字入力画面が表示されます。



1. キーボードで文字を入力する

入力した内容がテキストボックスに表示されます。

MEMO

- 入力に使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !# \$%&'()+,-0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{}`
「Note」以外の入力では、文字先頭に「@」「(スペース)」は入力できません。

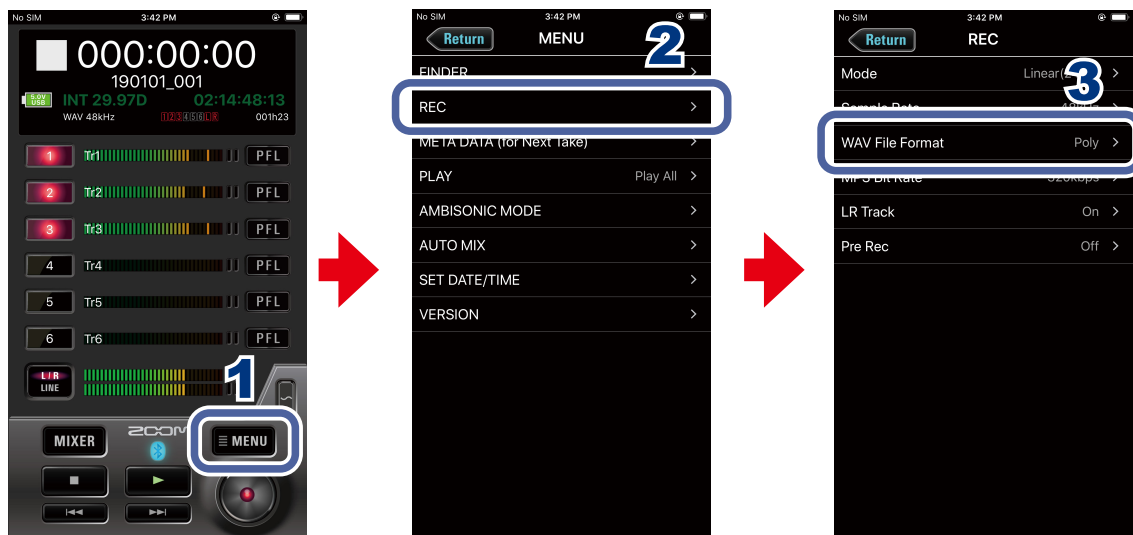
2. 入力が終わったら、**Enter** をタップする

入力した内容が確定します。

入力を取り消す場合は、**Return** をタップします。

録音の準備

● 録音ファイルの形式を設定する

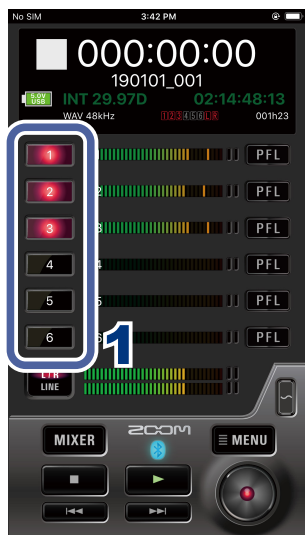


1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で **[REC]** をタップする
3. REC画面で **[WAV File Format]** をタップし、設定を変更する

録音する

● 入力を選択するには

使用する入力をインプット1～6の中から選択します。

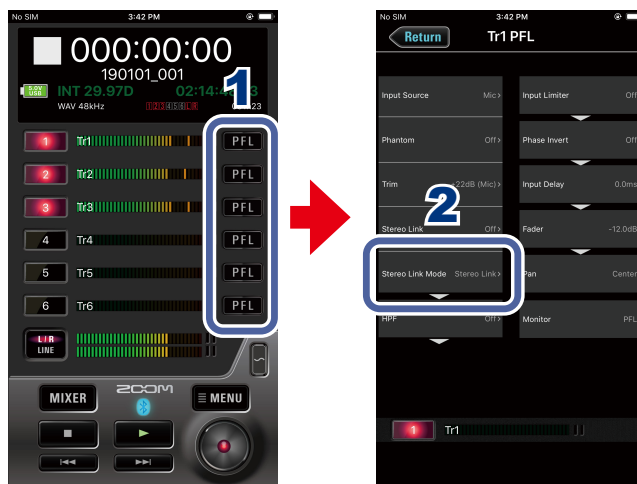


1. HOME画面で、録音するインプットのトラック選択ボタンをタップする

録音対象になるトラックは赤く点灯し、録音しないトラックは黒く表示されます。

● ステレオリンクを設定するには

トラック1/2、3/4、5/6、をステレオトラックとして使うことができます。



1. HOME画面でステレオリンクを設定するトラックの **PFL** をタップする

2. PFL画面で[Stereo Link]をタップし、変更を行う

● 入力レベルを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。
2. MIXER画面で、調節するトラックの入力トリムノブを上下にドラッグし、レベルを調節する



MEMO

- ・ 入力トリムノブをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

● 録音する



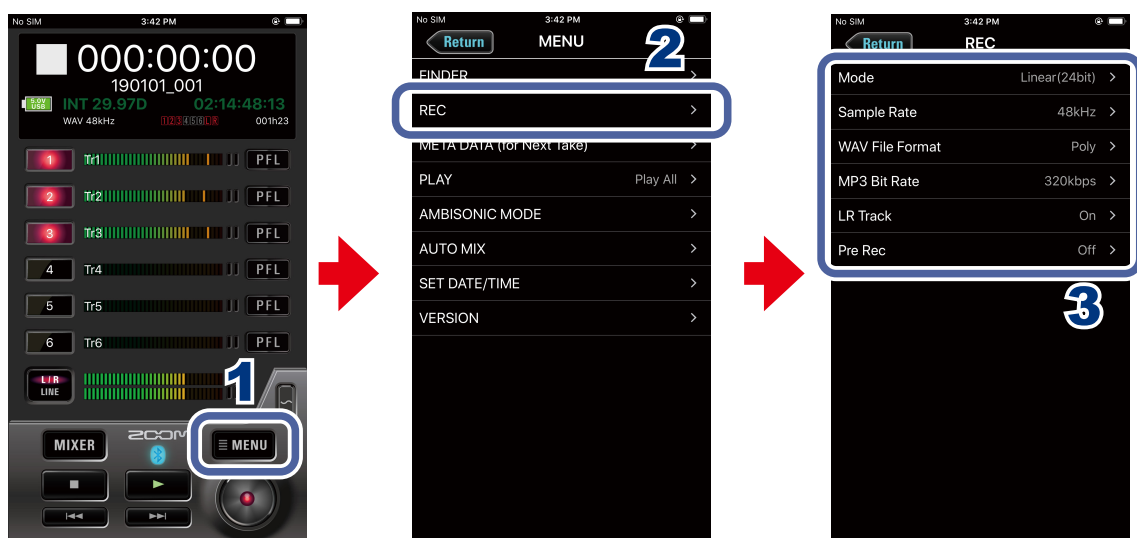
1. HOME画面で  をタップする

2. 録音中に次テイクの録音を開始するには  **をタップする**
録音は継続したまま現在の録音を停止し、新たに録音が始まります。

3. 一時停止するには  **をタップする**
もう一度  をタップすると録音を再開します。

4. 停止するには  **をタップする**

録音に関する各種機能を設定する



1. HOME画面で  **をタップする**

2. MENU画面で[REC]をタップする

3. REC画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Mode

録音するWAVファイルのビット深度を設定します。

■ Sample Rate

録音するファイルのサンプルレートを設定します。

■ MP3 Bit Rate

録音するMP3ファイルのビットレートを設定します。

■ LR Track

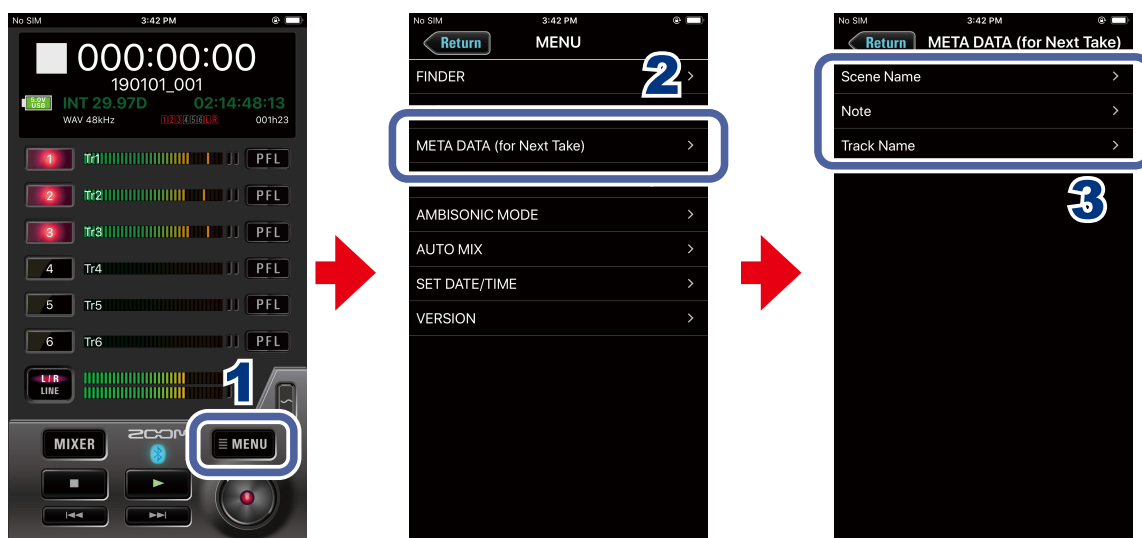
LRトラックの録音の有無を設定します。

■ Pre Rec

時間をさかのぼって録音するプリ録音機能のOn/Offを設定します。

録音時のテイク設定を変更する

録音時のテイクのシーン名などを変更します。



1. HOME画面で **MENU** をタップする

2. MENU画面で [META DATA (for Next Take)] をタップする

3. 設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Scene Name

次に録音されるテイクのシーン名のつけ方を選択します。

■ Note

メタデータとして次に録音されるテイクにメモなどの文字を入力します。

■ Track Name

次に録音されるテイクのトラック名を編集します。

再生する

● 再生するテイクを選択する

1. HOME画面で   をタップする
再生テイクが切り替わります。

● 再生する



1. HOME画面で  をタップする
2. 早送りするには  を、早戻しするには  をホールドする
マーク位置の頭出しを行うには、  をタップします。
3. 一時停止するには  をタップする
もう一度  をタップすると再生を再開します。
4. 停止するには  をタップする

● テイクをミキシングする



1. HOME画面で  をタップする

2. **MIXER** をタップする

iPadの場合、HOME画面で行います。

3. MIXER画面で各パラメーターの設定値を変更する

■ パンフェーダーを操作する

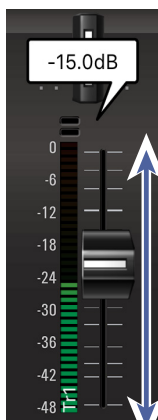


パンフェーダーを左右にドラッグすると値を変更できます。

MEMO

- ・ パンフェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

■ レベルフェーダーを操作する



レベルフェーダーを上下にドラッグすると値を変更できます。

MEMO

- ・ レベルフェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。
また、設定値が初期値の時は、設定値をMuteに設定できます。

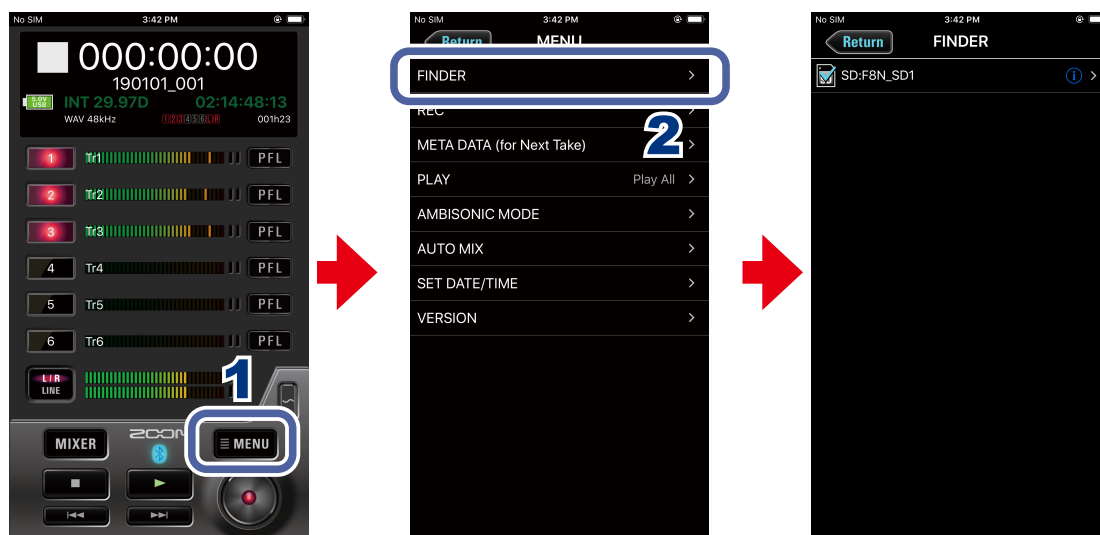
MEMO

- ・  をタップしてL/Rに切り替えると、L/Rのレベルを変更できます。

フォルダー／テイクの操作

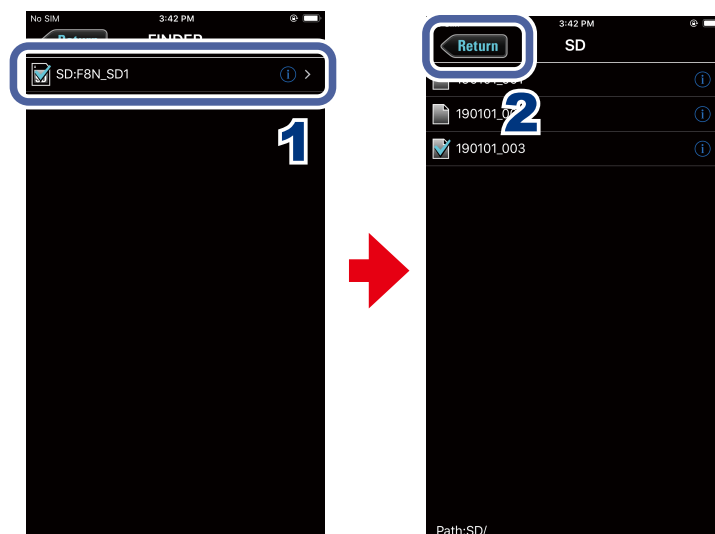
FINDER画面を表示する

レコーダー本体のSDカード内のフォルダー／テイクの編集・確認は、FINDER画面で行います。



1. HOME画面で、**MENU** をタップする
2. MENU画面で、**[FINDER]** をタップする

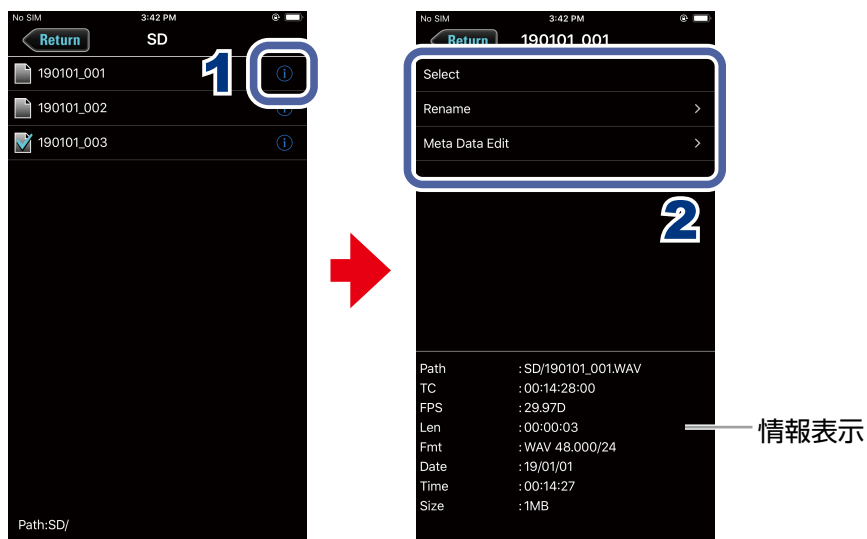
SDカード／フォルダーの内容を表示する



1. FINDER画面で、表示したいフォルダー名をタップする
そのフォルダー内のフォルダー／テイク一覧が表示されます。
2. 1つ上の階層に戻るには、**Return** をタップする

● フォルダー／テイクを操作する

フォルダー／テイクの情報の確認、名前の変更、メタデータの編集を行うことができます。



- 1. 操作したいフォルダー／テイク名の右側にある ⓘ をタップする**
オプション画面が表示され、以下の情報を確認できます。

情報表示の内容

選択項目	項目名	内 容
SDカード	Free Size Remain	空き容量 サイズ 残り録音可能時間
フォルダー	Path Date Time	フォルダーのパス 作成日 作成時刻
テイク	Path TC FPS Len Fmt Date Time Size	テイクのパス タイムコード フレームレート 時間長 録音フォーマット 作成日 作成時刻 サイズ

2. 設定を変更または操作する項目をタップする

■Select

再生するテイクの保存されたフォルダー、または録音したテイクを保存するフォルダーを選択し、HOME画面に戻ります。

MEMO

- ・ フォルダを選択すると、その中にある最初のファイルが選択されます。

■Rename

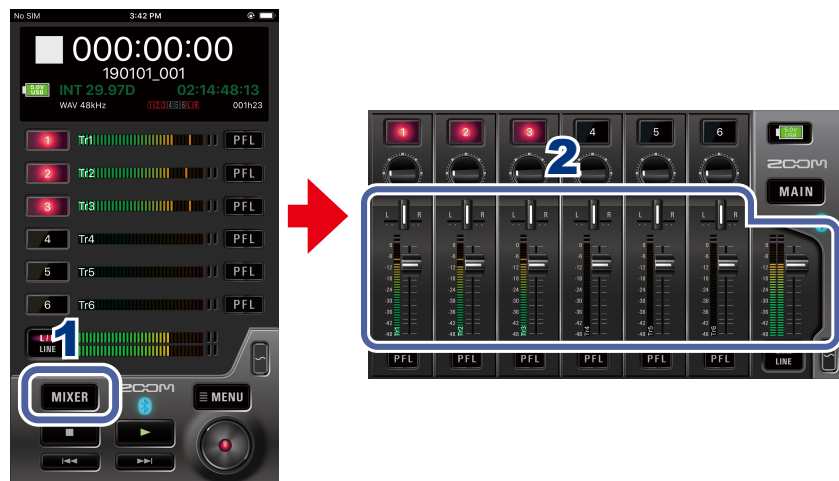
フォルダー／テイク名を変更します(→8 ページ「文字入力画面」)。

■Mata Data Edit

テイクの情報(メタデータ)を確認、編集します。

入力信号に関する設定

● 入力信号のモニターバランスを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする

iPadの場合、HOME画面で行います。

2. 各パラメーターの設定値を変更する

MEMO

- ・ ここで調節した音量やパンはモニター信号にのみ有効で、録音データには反映されません。
- ・ **L/R LINE** をタップしてL/Rに切り替えると、L/Rのレベルを変更できます。

●トラックごとの各種設定を行う

それぞれのトラックに対する設定は、PFL画面で行います。



1. HOME画面で設定を行うトラックの **PFL** をタップする
PFL画面が表示されます。

2. PFL画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Input Source

各トラックのインプットソースを設定します。

■ Phantom

各インプットごとにファンタム電源のOn/Offと電圧の設定が可能です。

■ Trim

入力レベルを調節します。

■ Stereo Link

入力のステレオリンクを設定します。

■ Stereo Link Mode

ステレオリンクしたトラックに入力したMS方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオ信号に変換します。

■ HPF

低域をカットして、風雑音やボーカルのポップノイズなどを軽減できます。

■ Input Limiter

レベルが高すぎる入力信号を抑えて、信号が歪むのを防ぎます。

■ Phase Invert

入力信号の位相を反転させます。

■ Input Delay

各インプットの音にタイミングのズレがある場合、それを補正して録音できます。

■ Fader

入力信号の音量を調節します。

■ Pan

左右の音のバランスを調節します。

■ PFL Mode

PFL画面でモニターする音を、プリフェーダー（PFL）／ポストフェーダー（SOLO）のどちらかに設定できます。

出力に関する設定

● 出力レベルを調節するには



1. HOME画面で **MIXER** をタップする
iPadの場合、HOME画面で行います。
2. MIXER画面で **L/R LINE** をタップして、L/RまたはLINEに切り替える
3. 出力のレベルフェーダーを上下にドラッグし、レベルを調節する

アンビソニック録音に関する設定

● アンビソニック録音の設定を行うには



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で[AMBISONIC MODE]をタップする
3. AMBISONIC MODE画面で設定を変更する項目をタップし、変更を行う

■ Format

アンビソニック録音のフォーマットを設定します。

■ Mic Position

アンビソニック録音時のマイクポジションを設定します。

オートミックス機能に関する設定

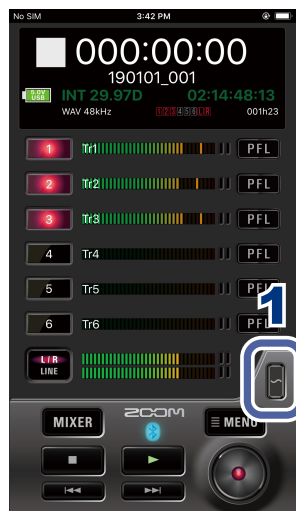
● オートミックス機能を有効にするには



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で **[AUTO MIX]** をタップする
3. AUTO MIX画面でオートミックス機能を有効にしたい入力トラックをタップする

テストトーンを再生する

外部接続機器とのレベル調節のために、テストトーンを再生することができます。



1. HOME画面で をホールドする

テストトーンが再生されます。

 を離すとテストトーンが止まります。

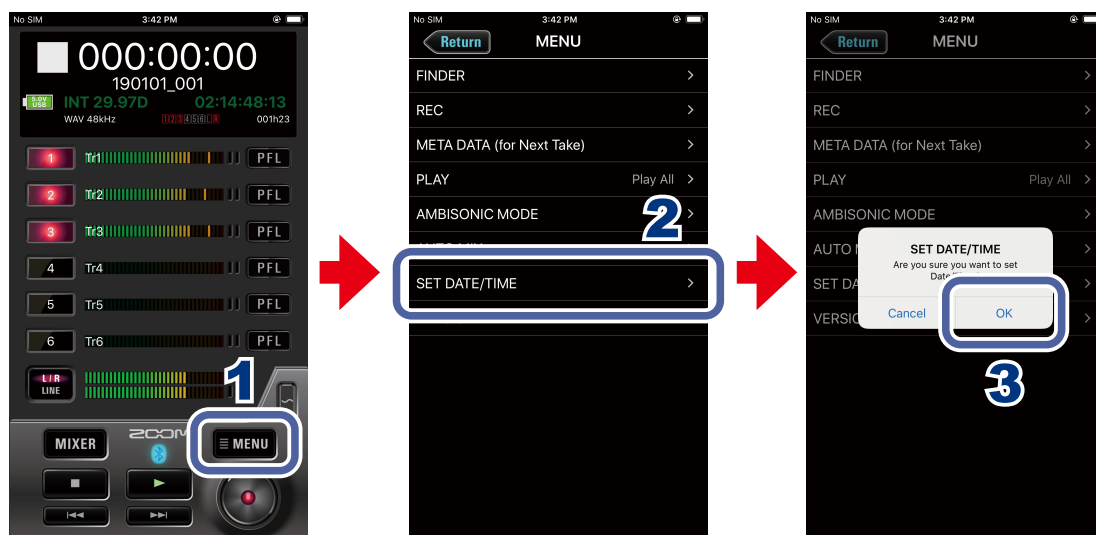
MEMO

- LINE OUT 端子に接続した外部機器とのレベル調節をするときは、 をホールドしながらライン出力レベルを調節してください。

その他の機能

● 日付／時刻を設定する

レコーダー本体の日付／時刻を、iOSデバイスのシステムクロックに合わせます。



1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で **[SET DATE/TIME]** をタップする
3. 確認の画面で「OK」をタップする
レコーダー本体の日付／時刻が設定されます。

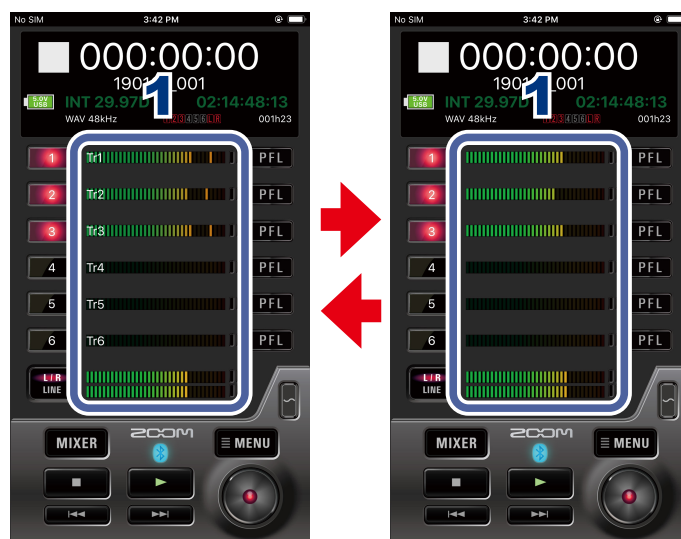
● F6 Controlのバージョンを表示する

F6 Controlのバージョンを確認します。

1. HOME画面で **MENU** をタップする
2. MENU画面で **[VERSION]** をタップする

●トラックネームを表示する

各トラックのトラックネームを表示できます。



1. レベルメーターをタップする

全トラックのトラックネームの表示／非表示が切り替わります。

●F6 ControlとFRC-8を同時に使用する

F6 Control とレコーダー本体を接続しながら、更に**FRC-8**をレコーダー本体と接続し同時に使用することができます。

F6 Controlと**FRC-8**を同時に使用している間は、F6 Controlはモニター用として機能します。そのため、F6 Controlの以下の操作のみ使用可能となり、他の操作は使用不可となります。

- OUTPUT表示切替ボタン
- MIXERボタン (iPhoneのみ)
- MAINボタン (iPhoneのみ)
- トラックネーム表示／非表示切り替え機能

MEMO

- レコーダー本体をAudio Interfaceとして使用している場合、レコーダー本体とF6 Controlは接続できません。



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
www.zoom.co.jp

Z2I-3778-02